

Handsome

December 2013 No.301

「人こそ最大の財産」
Positive Forward
自ら進んで、歩を踏み出す
実行力

◆鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 渡辺一徳
◆編集責任者/担当 副会長 福庭貴志 ◆制作・編集 第39期広報委員会/委員長 生田育永

11月例会開催

テーマ：「身近な自治と個人の自主自立」
講演：「オーケストラという公共社会」

11月18日、政治行政委員会担当の11月例会が米子文化ホールにて開催されました。



冒頭、渡辺会長より、「会社で窓拭きや掃除を日課としている。最初はめんどくさいと感じることもあったが、毎日少ない時間でもやりつづけていけば、会社をきれいにしようという意識が生まれ、結果的に従業員の意識も変わってきました。小さな実行を積み重ねて継続していけば、必ずや会社や中央会の大きな仕事にもうまく反映されると思います。みなさんも小さな事からでもぜひ実行をして、より一層実行力に磨きをかけてください。」と語られました。

委員長タイムでは、ビジネス経営委員会秋里委員長より、競技者やコーチとして関わっているスキー競技「全日本スキー技術選手権大会」の紹介をされました。また地元大山スキー場の魅力についても述べられ、「ぜひ、冬シーズンの間に一度は大山のゲレンデへお越しください」と会員に呼び



かけました。

続く講演では冒頭、政治行政委員会の千石委員長より、「前年度は道州制の論議から小さな政府に移行した際の地域社会における自助・互助・共助について学んだ。今例会では、講師先生にさらに一步踏み込んだ身近な自治と個人の自主・自立について講演して頂きます。」と趣旨説明がありました。



講演では「オーケストラという公共社会」と題し、(有)じんぶんネット代表取締役松本城洲夫氏よりお話をいただきました。松本氏は、イタリア人と日本人の考え方の違いについて触れ、そこから日本と諸外国との対比のなかでわかりやすく自主・自立・公共とプライベートなどの概念について説明して頂きました。

また、主宰されているオーケストラについても話され、豊かな音楽は競争によって生まれるのではなく、お互いに人間として尊重し助け合う精神から生まれる。また責任を持って自主的に行動していけば、指揮者がいなくてもオーケストラはできる。その精神は公共社会にも通じており、今後大切なことだと述べられました。

講演の終わりに三嶋副委員長より結び



の言葉として、「主体性と社会性を持って行動していくことが所属している公共の社会の持続的な発展につながっていく。」と話されました。

最後に牧田副会長より、「身近な地域社会でも自立して友情という連帯を持って主体的に責任を果たせば、強い地域になっていける。松本先生の今後のご活躍をお祈りしています。」と謝辞を述べました。

今回の例会の講演のテーマは一見すると難しいテーマだったにも関わらず、具体的な分かりやすい例を挙げて講演していただきました。子供の教育・躾などにも触れていただき、子育て世代の多い会員には身近に感じる話題も多く、また自主的に考えることの大切さを改めて学んだ例会でした。
(記事:宮田)

例会を終えて… 政治行政委員会 委員長 千石正信



会員の皆様、11月例会をご静聴頂きありがとうございました。この例会は前回と同じ講師による例会という事で企画段階から、委員会内および役員会等で相当な協議を重ねました。講師の松本先生とも合計4回の打合せを行いました。

講演の内容を講師先生に任せきりにするのではなく、講師先生と委員会メンバー全員で作りました。きっと皆様にも満足頂けたものと確信しております。

当日リハーサル時にパソコンのトラブルや役割分担の変更等もありましたが、委員会メンバーに助けられ無事に進める事が出来ました。また、三嶋副委員長をはじめ若い委員会メンバーの成長を感じた例会でした。

次回担当は5月例会になりますが、委員会メンバーの英知を結集し、今回よりもさらに踏み込んだ、政治行政委員会の名に恥じぬ例会を作り上げたいと思いますので御期待下さい。

中海圏域青年団体交流会参加報告

11月30日(土)、島根県松江テルサ4階大会議室にて開催された「中海圏域青年団体交流会」に参加しました。



当日は「熱く語ろう！TSC・YEGの連携・未来」の交流会キャッチフレーズのもと、TSC、安来YEG、松江YEG 3団体の若手経済人による活発なディスカッションが繰り広げられました。松江YEG・長谷川浩二会長による開会のご挨拶にあった「この交流会によって必ず何か生まれるというわけではないが、中海圏域の若手経営者がお互いの顔を知り、交流をし、心を開いてオープンな会をしていくことで、その先にきっと成果がある」という言葉を胸に、3団体混合によるグループディスカッションがスタートしました。

合計10グループに分かれて討議された1つ目のテーマは「中海圏域連携の可能性・意義を考える(3団体)」というものでした。松江・安来・米子それぞれの地域の良さ・魅力と改善すべき点を様々な視点から探り出し、そこから各地域の共通点を見出すことによって、3つの地域で連携できるテーマがないかを議論しました。



「中海圏域連携のビジネス交流を考える(企業)」という2つ目のテーマでは、多くのグループから「まずはお互いのことを知ることが重要」という意見が挙がりました。どのグループもテーマに対して真剣に議論しており、活発に意見が交わされていました。グループディスカッション終了後の発表会では、代表者が各グループで議論

した内容を熱く語り、中海圏域での新しいビジネスモデルや具体的な経済活性化対策等の有意義な意見が出ました。

松江YEG・地域開発委員会・小村浩司副会長による閉会挨拶では「ビジネスマッチングの前に、まずは人と人との交流が大切。そこからビジネスチャンスは生まれてくる」と総括されており、参加者全員が中海圏域で密な交流をしていくことの重要性や意義を感じ取っていました。



その後の懇親会でも、各団体による企業PR等大変な盛り上がりとなり、参加者全員で中海圏域青年団体の今後の継続交流を誓いました。

(記事:小林)

イベント突撃
レポート!
No.1

第25回全国柿の種吹きとばし大会



11月23日、「第25回全国柿の種吹きとばし大会」が南部町で開催され、広報委員会の有志でチーム「ハンサム」を結成し、パーティー部門競技に参戦した。遠く愛媛県、大阪府などから強豪チームの参戦もあり、優勝を目指す「ハンサム」は、競技開始3時間前から会場入りし、生田委員長号令の下、気合を入れ、コンディションを整えた。

パーティー部門は1チーム5人(うち、女性が2人以上)で結成。「1人2吹き」で良い方の記録がカウントされ、5人の総合記録で競われる。過去の優勝記録は50m台であるため、少なくとも1人当たり10mは飛ばさないと優勝は見えて来ない。また、飛ばす柿の種は競技開始直前に食した柿の種であるため、飛びやすい柿の種を見極める眼力と、そのような柿の種が出るまで柿を食し続けなければならないという胃袋も必要となる。

「ハンサム」は、見た目以上に奥の深いこの競技に、無類の柿好きを誇る吉田副委員長、蓼本会員、足立会員、宮田会員、三鴨秀会員の5名で挑んだ。

そして、いよいよ「ハンサム」の出番である。競技開始前、吉田副委員長から手製の「TSC」ハチマキが手渡され、優勝に向けてチームの心が一つになった。

大きな歓声を受け、1番手に立った競技者は宮田会員。非常にプレッシャーの掛かるトップバッターを自ら引き受けてくれたチーム期待のエースであったが、残念ながら2吹きともファウルで競技を終え、記録は残らなかった。

続いて2番手は三鴨秀会員。宮田会員の分まで挽回を狙ったが、記録は2m台と低調に終わり、この時点で「ハンサム」の優勝は絶望的となった。

3番手は、柿を4個食し入念な種選びを行った足立会員。さすがの緻密な戦略で挑んだが、記録は6m台と伸び悩んだ。

4番手、5番手は、吉田副委員長、蓼本会員の女性陣が挑み、男性陣とは打って変わった活躍を見せた。

総合記録は21.48mで結果は最下位であったが、参加したメンバー一同、当日は楽しく交流でき、また新たな絆が生まれた。来年はリベンジを果たし、勝利の柿に酔いたいと思う。

(三鴨秀)



趣味



「言う」言う

長谷川の「金廻に伝わる洒落にならない怪談」

S郡の一部の地域では「月末に白粥を炊くな」という言い伝えがある。この続きには恐ろしい因縁話が付いており、初めて聞いた時はゾッとした。時は戦前にさかのぼる。話の舞台であるK村は、江戸時代から240年もの歳月を掛けて用水路を引く工事を行った事で栄えていたらしい。その村では明治に八幡神社の摂社として弁財天社が祭られたが、それ以前から白蛇信仰が行われていたという。村民は持ち回りで毎日白蛇に冷ました白粥をお供えしていた。何年であるかは不明だが、とある月末。他所から嫁入りした女房を持つ家が当番となった。女房は白粥を作ったがその日はとても忙しく、つい出来立ての熱い粥をそのまま器に入れて供えた。白蛇はいつものつもりで食べようとするが、熱い粥をそのまま食べたのか、驚いて粥の中に落ちたのか、やけどを負って死んでしまった。それから間もなく村の血筋を持つ者全員が、あるものは病で、あるものは狂い、あるものは事故で、短期間で続けざまに亡くなっていったらしい。後には粥を供えた女房一人だけが残し、『白蛇のたたり』を恐れて逃げた。以後周囲の村落では誰もいなくなったK村を忌地とし、子供たちにも近づく事を禁じたという。K町史には『消滅』と記載され、またK村の弁財天社は近くの神社に移されている。この話は全て自己調べであり、多少間違っているかもしれないが、地元の人々の間でしか口伝されておらず、いづれは消えゆくだろう。本当に怖い話は案外身近に潜んでいる。



OB訪問 探偵! TSCスクープ 「今流行りの3Dプリンター!!!」

中田耕治OB (第34期卒)を訪ねて

ある会員から「最近テレビや新聞で3Dプリンターという物をよく目にするが、果たしてどんな物なのか調べて欲しい」との依頼が。

3Dプリンターとは、通常の紙に平面的に印刷するプリンターに対して、3DCAD、3DCGデータを元に立体を造形するデバイスを指す。通常は積層造形法によるものを指し、切削造形法によるものは3Dプロッターと呼ぶ。3次元のオブジェクトを造形することを、3Dプリンティングと呼ぶ。基本的な仕組みは、コンピュータ上で作った3Dデータを設計図として、断面形状を積層していくことで立体物を作成する。液状の樹脂に紫外線などを照射し少しずつ硬化させていく、熱で融解した樹脂を少しずつ積み重ねていく、粉末の樹脂に接着剤を吹きつけていく、などの方法が

ある。

現在、製造業を中心に建築・医療・教育・先端研究など幅広い分野で普及している。用途は業界によって様々である。製造分野では製品や部品などの「デザイン検討」「機能検証」などの試作やモックアップとして、建築分野ではコンペやプレゼン用の「建築模型」として、医療分野ではコンピュータ断層撮影や核磁気共鳴画像法などのデータを元にした「術前検討用モデル」として、教育分野では「モノづくり教育のツール」として、先端研究分野ではそれぞれの研究用途に合わせた「テストパーツ」「治具」などの作作用途で使用されている。

中田耕治OBの会社では2年前から導入されており、「墓石の模型を目で見ても手で触れて頂く事で、お客様により満足してもらえる事が嬉しい」と仰られておられました。

(記事:村田)



～卒会者から君たちへ～

須山裕文 会員



30周年の年に入会し、10年間という長い期間を過ごしてまいりました。40周年の年に卒会ということで、非常に感慨深く感じております。

振り返ってみれば中央会に入会したおかげで色々な経験をさせていただきました。その反面、中央会という大きな力に守られていたような気がいたしております。これからはその大きな後ろ盾に甘えることなく、本業に邁進したいと思っております。

40年間も会が続くということは本当にすごいことだと思います。

現役の皆様、これから50周年、60周年といつまでも社会から必要とされる中央会を目指して有意義な活動をしていただきたいと思います。

偉そうなことを書き連ねましたが、残り僅かな中央会生活、皆様よろしく願いたします。



言わして ごしな

6月に人生初の骨折をし、松葉杖での生活になりました。それでも仕事はデスクワークなので、まあ何とかかなと思っていました。し

かし手帳を見ると、翌日はボラ部会、次の日は39期方針説明会と中央会が連続で。そう、年度末&トライスロンと中央会が一番忙しい時期に入っていました。そんな中、「今日はどうやって行くだあ?」と声を掛けて下さる会員も多くおられ大変嬉しく思いました。また「足を踏んでもいいか?」とか「ギブスに落書きをしてもいいか?」とか、「いいですよ」と言う訳がない質問をしてこられる会員も決して少なくありませんでした。



トライスロン当日は濱田ボラ部長から、ゆっくり来ればいいよという優しい言葉…は、かけられぬまま、皆さんと同じ時間に集合し、勤めを果たさせて頂きました。ありがとうございました。

夜の街は控えていたのですが、それでも出た時は、左足は革靴、右足はスリッパという姿で飲み屋へと移動する私を見て、酔っぱらって靴を履き間違えとうで〜という周りの視線を感じたのは気のせいでは無かったと思います。

8月になると、やっとギブスがとれました。松葉杖生活は大変でしたが、中央会活動を通じて皆さんの大きな温かみを感じた2か月間でした。会員の皆さん、骨折するなら6〜7月は避けましょう。

(西村義史)

11月度委員会報告

絆委員会

平成25年11月7日(木) 19:00~ 場所:レストランぶどうの木
議題 / ・役員会報告 ・10月担当例会反省
・新入会員オリエンテーションについて ・その他

ビジネス経営委員会

平成25年11月7日(木) 19:00~ 場所:ホテルアクシス
議題 / ・役員会報告 ・会員拡大について
・松江・安来YEG交流事業について
・2月例会、40周年事業について ・その他

政治行政委員会

平成25年11月5日(火) 19:00~ 場所:米子コンベンションセンター第2会議室
議題 / ・役員会報告 ・会員拡大について
・11月例会に向けた最終調整 ・その他

広報委員会

平成25年11月7日(木) 19:00~ 場所:米子ニューアーバンホテル
議題 / ・役員会報告 ・ハンサム301号について
・12月例会について ・その他

総務委員会

平成25年11月7日(木) 19:00~ 場所:元気亭
議題 / ・役員会報告 ・1月新年例会について
・会員拡大について ・その他

40周年記念事業委員会

平成25年11月6日(水) 19:00~ 場所:焼肉うえば
議題 / ・役員会報告 ・40周年事業記念GC反省について
・10月チャリティーGCについて
・40周年事業について ・会員拡大について ・その他

我が社の看板娘



米子全日空ホテル 日本料理雲海

〒683-0824 鳥取県米子市久米町53番2号

TEL0859-36-1116

■営業時間 11:30~14:30 17:00~21:30

<http://www.anahotel-yonago.com>

①坪内 茜 21歳

②カツ丼!!!!

③一緒に居て楽しい人♡

※①名前 年齢/②好きな食べ物/③好きな男性のタイプ

~総務委員会 北島美佳会員より~

米子全日空ホテルは今年で開業10周年を迎えました。宿泊、宴会、婚礼、レストラン、ケータリング等、最高のおもてなしを目指してスタッフ一同日々業務に取り組みしております。

本日は紹介させていただいた日本料理雲海は、お手頃な価格のお昼のランチから、接待、お祝い、弦楽のお席にもご利用いただけます。

お庭の見渡せるホール席、4名~16名様のお室もございます。

スタッフ一同心をこめておもてなしさせていただきます。ぜひご利用ください。

12月役員会報告

12月役員会が平成25年12月2日(月) 東光園にて開催されました。当日の主な議題は以下の通りです。

- ・11月例会開催報告
- ・12月例会について
- ・その他

*なお、詳細につきましては、各委員長までご確認下さい。

12月例会のご案内

と き:平成25年12月17日(火) 19:00~21:00

と ころ:ガイナックスシアター(米子市駅前イオン3階映画館跡地)

内 容:講演テーマ「米子の風土が生み出す

『米子人』気質とは何か?」

講師:株式会社ガイナックス

ゼネプロ本部 本部長 赤井孝美氏

ゼネプロ本部 プロデューサー 実繁浩一氏

担 当:第39期広報委員会

編集後記

39期もようやく折り返し地点。

本当にやっとだ・・・。

時間を長く感じる分、内容の濃い一年となりそうだ。

やってみてはじめてわかる人の気持ち。

皆様の支えで成り立っていることを気付かされた上半期。

さあ!もうひといき行きますか!!

(吉田)